



公立塩原幼稚園が閉園  
きつと忘れない…  
全部が大切なたからもの



## 25日 閉園式

園児8人のうち2人が塩原小中学校へ入学、6人が塩原認定こども園に移りました。人見園長は、次の舞台に進む園児に「夢に向かってがんばって。大きくなってもふるさとを自慢してね」と声を掛けました。

この園で過ごした日々と良い思い出がたくさん残っています。きつと忘れない…全部が大切なたからものだから。たくさんの思い出をありがとう、塩原幼稚園。

38年の歴史に幕を閉じ、公立塩原幼稚園が3月31日に閉園しました。園ではこれに先立ち、24日に「お別れ会」、25日に「閉園式」を開催しました。

園児8人と保護者が参加したお別れ会では、最後の思い出をつくってもらおうとさまざまなイベントを企画。園児も保護者も目一杯楽しみ、たくさん笑顔がありました。

翌日の閉園式は、厳かな雰囲気の中、園児が自分の夢を発表。また、手話を交えて「さよならぼくたちのようちえん」を歌いました。歌を聴いた先生や保護者の中には、子どもたちの成長、成長を手助けしてくれた園や地域への感謝の気持ち、閉園のさみしさなどから、感極まって涙を浮かべる姿も…。

これまでの卒園児は延べ566人。皆さんの心の中には「運動会やそり遊びなど楽しかったこと」「友達と遊んだり、ときどきけんかしたこと」「先生や地域の人たちが優しくしたこと」「少しずつ成長できたこと」など、この園で過ごした日々と良い思い出がたくさん残っています。

## 24日 お別れ会

笑顔でお別れ…最後の思い出を心に刻みました。  
☆遊具あそび ☆親子一緒に読書・工作 ☆クレープ作り ☆お菓子釣り ☆バルーンアート  
☆みんなで最後の給食 ☆思い出のDVD観賞 ☆雷様剣士ダイジショー ☆風船とばし



たくさんの思い出ありがとう…  
金沢小学校が142年の歴史に幕

142年の歴史にありがとう  
忠孝の学び舎 金沢小学校



- 1 運動会での1コマ。この写真の2日前までは豪雨で一面水浸しに。地域の人たちの協力で予定どおり運動会を開くことができました
- 2 代表で学校への思いを発表した柴崎京佳さん
- 3 11月に開催された閉校記念イベントでは、地域の人たちが懐かしい給食を楽しみました
- 4 玄関に掲げられた額。明治15年に現在の場所に移築した際、時の元勳三条実美が「忠孝学校」と名付けたことによるもの。後に金沢尋常小学校に改称されました
- 5 金沢小学校からは約1,400人の子どもたちが巣立っていきました



明治6年(1873年)に開校し、142年続いた市内で最も古い小学校の1つ、金沢小学校が3月31日をもって閉校しました。

これに先立ち、3月24日に行われた閉校式には、27年度卒業生4人を含む28人の児童や関係者、地域の人たちなど200人が参加。児童を代表して、6年生の柴崎京佳さんが学校生活の思い出を振り返り、最後に「閉校はとても寂しい。でも、学校はなくなっても心の中には思い出がある。金沢小を誇りに思い、前に進んでいきたい」と母校に対する思いを発表しました。

また、大田原校長も、昨年9月の豪雨災害直後にもかかわらず、保護者などの協力で、翌々日には無事に運動会を開催できたこと、11月に盛大に行った閉校記念イベントなどを紹介し、「金沢小は地域の人たちに助けられてここまでこられた。本当に感謝したい」とあいさつしました。

金沢小最後の在校生24人は、4月から関谷小学校で新しい学校生活スタートしています。学び舎が変わっても、新しい友達と一緒に、今まで以上に元気いっぱい未来に向かって進んでいくことでしょう。